次期町内巡回バス運行計画（素案）に係る
パブリックコメントに対する結果について

１　意見募集の概要

① 意見募集期間：令和６年６月６日（木）から令和６年７月５日（金）まで

② 意見募集の周知：広報すぎと、町ホームページ

③ 閲　覧　場　所：町ホームページ、杉戸町役場（住民協働課、行政情報コーナー）、すぎとピア、各公民館、生涯学習センター、エコ・スポいずみ、杉戸深輪産業団地地区センター、高野農村センター、杉戸町コミュニティセンター（閉庁時間帯、閉館日を除く）

④ 意見の提出方法：窓口に持参、郵送、ＦＡＸ、電子メール、電子申請

２　意見募集の結果

① 提 出 者 数：７人（提出方法：持参　３通、電子申請　２通、ＦＡＸ　２通）

② 意見等総数：２０件

③ 反 映 件 数：４件（No.2、No.3、No.7、No.8）

※　意見の概要と意見に対する町の考え方は別紙のとおりです。
※　意見については、一部要約の上、記載しているものがあります。

No.	項	意見の概要	意見に対する町の考え方
1	P.6	西コースに今井病院前又は県道入口の停留所を設置してほしい。杉戸町唯一の病院に通院している人は多いと思う。	停留所新設を検討した結果、周辺停留所との距離、当該道路の交通量等を考慮し、今回の見直しでは設置しませんが、停留所の見直しは御意見を踏まえ引き続き検討してまいります。
2	P.1	計画見直しの目的・意義を分かりやすく説明してほしい。	「１．はじめに」の文章を整理し、分かりづらいと思われる部分を修正しました。
3	P.1	巡回バスの経緯に運賃が 200 円になった時の記載がない。	令和２年４月の欄に運賃 200 円となった旨を記載しました。
4	P.3	年間利用者数は令和 4 年 18,701 人、令和 5 年 21,269 人であり、埼玉県スーパーシティプロジェクトに係るガバメントピッチでの杉戸町の発表でも「利用率は約２０%弱と非常に低い」とある。そして、利用率低迷要因については、利用者が増えることによる増収分で改善のための費用を賄えるとある。 今後については、交通関係者（杉戸町地域公共交通推進協議会）と行政（杉戸町）との間の協議・調整内容を逐一町民に知らせていただければありがたい。	今回の見直しにあたり、運送事業関係者、住民・利用者の代表、関係行政機関の協議の場として、杉戸町地域公共交通会議を開催しています。会議は公開で、会議録は後日ホームページ等で公開しています。
5	参考資料１	町内巡回バスの見直しに関するアンケート集計結果では、欲しい停留所の一つとして東武動物公園駅がある。鉄道駅の交通結節機能として巡回バスを利用したいと思っている潜在的要望があるので、駅東口再開発事業に併せ、日常生活の利便性向上ニーズに応えてほしい。住民にとって利用しやす	現時点では、駅管理者である東武鉄道(株)や駅所在地の宮代町、駅に乗り入れを行っている民間路線バス事業者等との協議が整っていないことから、駅東口への乗り入れはできない状況です。 しかし、アンケートの結果でもニーズが高いことから、東武動物公園駅前東口広場や東口通り線の整備の状況を踏まえ協議して

		い公共交通ネットワークを実現するために、交通事業者と行政の連携による駅東口周辺の都市空間の再構築を期待したい。	まいります。
6	P.4	土日運行は運転手の確保状況や費用対効果によって検討するとなっているが、運行日が平日のみになった経緯・理由は。 費用対効果についてはＢＳ（バランスシート）を示していただきたい。	令和３年度に土日の臨時運行を実施しましたが、利用者数は平日と比べ少なく、近隣自治体でも同様の傾向があります。また、今回の見直しにあたり土日の追加運行を検討する中で、運行事業者からバスの運転手不足により対応ができないとの意見があったため、平日のみの運行としました。 土日の追加運行については、要望が多いことから、今後も運転手の確保状況を注視し、費用対効果を踏まえ、引き続き検討していきます。 なお、巡回バスの効果は資産の増減で表せるものだけではないため、ＢＳ（バランスシート）の作成は困難です。
7	P.6	『太平ショッピングモール入口』を『太平ショッピングプラザ入口』へ名称変更するのであれば、変更案として記載すべき。	名称の変更案として記載しました。
8	P.7	1 日乗車券（購入当時のみ利用可能）とあるが（購入当日のみ利用可能）ではないか。	「購入当日のみ利用可能」に修正しました。

9	P.5	土日運行をしてほしい。他の市町村では土日を走らせているのにどうして杉戸町ではできないのか。実証実験をやったと言うが、その知らせがあったのか。ワクチン送迎と書いてあるバスは乗ってはいけないのかと思って乗れなかった。	令和３年度に土日の臨時運行を実施しましたが、利用者数は平日と比べ少なく、近隣自治体でも同様の傾向があります。また、今回の見直しにあたり土日の追加運行を検討する中で、運行事業者からバスの運転手不足により対応ができないとの意見があったため、平日のみの運行としました。 土日の追加運行については、要望が多いことから、今後も運転手の確保状況を注視し、費用対効果を踏まえ、引き続き検討していきます。 令和３年度に実施した巡回バスの土日の臨時運行は、通常の運行に加え、ワクチン集団接種会場への移動手段の一助となるように無料で実施しました。 また、御意見の「新型コロナワクチン接種無料送迎バス」は巡回バスとは異なる事業であり、ワクチン集団接種会場への専用の移動支援として実施しました。
10	参考資料２	タクシー補助の 300 円はあまりにも少なすぎる。東埼玉総合病院へ行きは巡回バス、帰りはタクシーだと泉地区は 4,000 円くらいかかる。	補助額の設定にあたっては、他の交通事業者とのバランスを考慮した上で、巡回バスの運賃や他の自治体のタクシー補助額を参考にしております。今後も実証実験を実施する中で、補助額も含め検討してまいります。

11	－	デマンド交通を導入してほしい。今はシステムが向上して使い勝手が良くなったと聞いている。泉地区は老人が多くなっているので、お金がないから医者に通えないという事がないようにしてほしい。	デマンド交通については、導入することで、町民の利便性の向上につながるものと認識しています。しかし、今回の巡回バスを見直すにあたり実施した町民アンケートの結果や費用対効果、既存の交通事業者とのバランス踏まえ、導入を見送り、巡回バスを見直し継続することとしました。 しかし、今後、デマンド交通をはじめとした町民の移動支援策は、社会情勢の変化を踏まえ、町民のニーズや費用対効果、既存の交通事業者の意見を聞きながら、引き続き検討してまいります。
12	資料１	西・南コースを１コースにしたことで、便数増や全コースでアグリパークが利用できるようになったことは評価できる。しかし、東コースから西コースへの乗継ぎが困難になっている。乗継ぎを改善すれば全コースで利便性が向上できる。	時刻表の設定につきましては、乗継についても配慮をしていますが、コースごとの周回時間の差等により全ての便で短時間での乗継を可能とするのは困難でありますことを御理解くださいますようお願いします。 東コースから西地区方面への乗継については、『東コース 2 便「ココティすぎと」10 時 02 分 着』⇒『西・南コース右回り 2 便「ココティすぎと」10 時 15 分 発』等を設定しております。西・南コースにおいて「役場」「古川橋」「ココティすぎと」は 1 便の内に複数回停車する停留所になりますので、乗継のポイントとして御活用ください。

13	参考 資料2	乗継補助は巡回バスの利用者のみに対応している。巡回バスの停留所が全町に網羅されているわけではなく、全地域の交通弱者が利用できる「乗合タクシー」を実施してください。	乗合で運行するデマンド方式の交通手段については、導入することで、町民の利便性の向上につながるものと認識しています。しかし、今回の巡回バスを見直すにあたり実施した町民アンケートの結果や費用対効果、既存の交通事業者とのバランス踏まえ、導入を見送り、巡回バスを見直し継続することとしました。 しかし、今後、デマンド交通をはじめとした町民の移動支援策は、社会情勢の変化を踏まえ、町民のニーズや費用対効果、既存の交通事業者の意見を聞きながら、引き続き検討してまいります。また、その際は御意見の内容も踏まえ検討してまいります。
14	P.7	1日乗車券は幸手市と同額の300円にすべき。	幸手市市内循環バスと１日乗車券での相互乗り継ぎを実施していることから、幸手市と同額の300円への変更を検討しました。しかし、幸手市以外の近隣市町の１日乗車券は一般運賃の２倍以上に設定していることや、値下げによる１日乗車券発行枚数の増加に伴う乗務員への負担増加と、それによる安全性への影響等を考慮し、今回の見直しでは変更しないこととしました。

15	P.5	高齢ドライバーが免許証を返納できるよう、土日便も運行をすすめるべき。	令和３年度に土日の臨時運行を実施しましたが、利用者数は平日と比べ少なく、近隣自治体でも同様の傾向があります。また、今回の見直しにあたり土日の追加運行を検討する中で、運行事業者からバスの運転手不足により対応ができないとの意見があったため、平日のみの運行としました。 土日の追加運行については、要望が多いことから、今後も運転手の確保状況を注視し、費用対効果を踏まえ、引き続き検討していきます。
16	－	私たちには、「移動する権利」がある。 巡回バスとデマンド交通は、町民の暮らしの中で、どちらもよさがある。両者をうまく活用してほしい。福祉タクシーだけでは財政負担が増えるので、デマンド交通の導入はそれを補える。外出する人が増えることは、健康寿命につながり介護保険料が安くなる。 デマンド交通について、鴻巣市や鳩山町では首長、議会、職員、住民の気持ちがデマンド交通実施に向いていたと聞いている。住民の生活を考えたら当たり前のことなのに、なぜ杉戸町はそうならないのか。現在、全県で２５の自治体が実施している。杉戸町としてどんな課題があるのかわからないが、課題を解決するお手本があるのだから大変やりやすいと思う。 次のことに取り組んでください。	デマンド交通については、導入することで、町民の利便性の向上につながるものと認識しています。しかし、今回の巡回バスを見直すにあたり実施した町民アンケートの結果や費用対効果、既存の交通事業者とのバランス踏まえ、導入を見送り、巡回バスを見直し継続することとしました。 しかし、今後、デマンド交通をはじめとした町民の移動支援策は、社会情勢の変化を踏まえ、町民のニーズや費用対効果、既存の交通事業者の意見を聞きながら、引き続き検討してまいります。 その際には、御意見にあります実証運行や補助金の活用等についても検討してまいります。 なお、杉戸町でデマンド交通を実施する際には、幸手市の事例をはじめとした他の自治体を参考にしながら、必要台数や予約方法等についても検討してまいります。

		・デマンド交通の実証を早急に始めてください ・財政的には、国からの交付金を活用してください。 ・タクシー会社とよく話し合い、昼の営業の少ない時間を活用するなどできるとよい。 ・昼間で町内（プラス近隣）なら、女性の運転手さんも安心して運転でき、女性の活躍の場が広がる。 ・東武動物公園駅や東埼玉病院など多くの人が利用する町外の場所も行けるようにしてください。 ・料金は、300 円にしてください。 ・全国で好評のデマンドシステムを取り入れてください。 ・幸手市の失敗から、何が問題だったかを調べて、杉戸町では失敗をしないようにしてください。 ・共通乗降場を多く設定してください。	
17	P.5	①巡回バスについては、さらに土日の運行も望む。	令和３年度に土日の臨時運行を実施しましたが、利用者数は平日と比べ少なく、近隣自治体でも同様の傾向があります。また、今回の見直しにあたり土日の追加運行を検討する中で、運行事業者からバスの運転手不足により対応ができないとの意見があったため、平日のみの運行としました。 土日の追加運行については、要望が多いことから、今後も運転手の確保状況を注視し、費用対効果を踏まえ、引き続き検討していきます。

18	－	杉戸町の巡回バスをはじめ、朝日バスの路線バスや、町内に営業所を持つタクシーも、交通機関であり、「交通は国民の自立した日常生活及び社会生活の確保を実現する機能を有するもので、国民生活の安定向上に欠くことのできないもの」「交通への需要が適切に充足されること重要である」（交通政策基本法　第２条）という基本的認識を共有しなければならない。そして「地方公共団体は、基本理念にのっとり、交通に関し、国との適切な役割分担を踏まえて、その地方公共団体の区域の自然的経済的社会的諸条件に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する。」（同、第９条）とある。移動が困難な人には、適切な交通手段が確保されなければならない。 巡回バスは便数が少ない、待ち時間が長い、自宅から停留所までの距離が長い。タクシー利用では交通費の負担が重い。外出を控えざるを得ない人がたくさんおり、無理して歩いて重篤になった人も出ている。これでは、交通への需要が適切に充足されるとは言えず、町には充足するための施策の策定、実施の義務がある。 こうした課題を解決するために県内各地ではデマンド交通の導入が進んでいる。 デマンド交通は、町内のタクシー事業者に配車、運行を委託する。そこで以下のメリットがある。 第１に、タクシー事業者にとって、昼間の仕事が増え、運	デマンド交通については、導入することで、町民の利便性の向上につながるものと認識しています。しかし、今回の巡回バスを見直すにあたり実施した町民アンケートの結果や費用対効果、既存の交通事業者とのバランス踏まえ、導入を見送り、巡回バスを見直し継続することとしました。 しかし、今後、デマンド交通をはじめとした町民の移動支援策は、社会情勢の変化を踏まえ、町民のニーズや費用対効果、既存の交通事業者の意見を聞きながら、引き続き検討してまいります。 その際には、御提示いただいたメリットも参考にしながら検討いたします。 介護保険料の基準額については、市町村ごとの複合的な要因があるため、デマンド交通の利用率と常に相関関係にあるものではないと考えますが、外出機会の増加による多様な分野への効果も考慮しながら検討してまいります。

		転手の収入が増え、町の税収も増える。 　第２に、タクシー補助は 100%町の持ち出しだが、杉戸町の場合、デマンド交通は運賃との差額の約 47%は国から特別交付税が交付される。 　第３に、利用者の負担も一回 300 円程度で少なくて済む。従って、県内市町村でもデマンド交通を導入するところが増えている。 　杉戸町の 2024～26 年度の介護保険料の基準額は 62,500 円（年額）で月額 5,200 円。県内デマンド利用の率（利用者数/人口）が最も高い鳩山町は全国 5 番目に安い 4300 円/月。年間に換算すると杉戸町の 65 歳以上の人口は 14,844 人なので、1 億 6 千万円も少なくなる。全く同じ効果が得られないにしても、一定の社会的効果が期待できる。なにより、高齢者、怪我や病気になった人たち、妊婦さんが利用でき、健康になるなら町としてもうれしいはず。杉戸町もせめて県内市町村の先進事例に学んで、できるだけ早くデマンド交通を導入するよう努力してください。	

19	資料1	令和6年現在のダイヤでは、乗継時間が短すぎる箇所がある。また、西コースから東コースへの乗り継ぎがほぼ出来ない。乗継ぎを改善してほしい。	時刻表の設定につきましては、乗継についても配慮をしていますが、コースごとの周回時間の差等により全ての便で短時間での乗継を可能とするのは困難でありますことを御理解くださいますようお願いします。 見直し案では、西・南コースにおいて「役場」「古川橋」「ココティすぎと」が1便の内に複数回停車する停留所になりますので、乗継のポイントとして御活用ください。西地区方面から東コースへの乗継については、『西・南コース右回り1便「ココティすぎと」9時40分 着』⇒『東コース2便「ココティすぎと」10時02分発』等を設定しております。
20	－	行先ごとの交通手段、距離、バスの時刻などを記入できる「私の移動カルテ」のようなフォーマットがあると良い。	御提案については、今後の利用案内作成等の際に参考とさせていただきます。